



# 進路だより (第1号)

発行者／鳥取県立倉吉養護学校 キャリア教育部

発行日／平成28年7月21日 (木)

〒682-0836 倉吉市長坂新町1231

TEL (0858) 28-3500 / FAX (0858) 28-1144

## 中部地区福祉セミナーを開催しました！

6月3日(金)、本校体育館において、福祉セミナーが開催されました。第1部は、「就労継続支援B型利用に係わるアセスメントについて」という演題で講演いただきました。昨年度より卒業後B型事業所を利用するにあたり、就労アセスメントが必要となり、実施までの流れについて多くの保護者や外部関係者の方々が真剣に耳を傾けておられました。

第2部は、各事業所のブースを設け、施設の活動内容・取り組みの説明・製品の展示などをしていただきました。高等部・中学部の生徒たちは、自分の興味のある事業所のブースを回り熱心に説明を聞きました。外部の事業所に来ていただき、話を聞けるいい機会であり、生徒にとって素晴らしい学習の場になったと思います。



## 中部地区就労促進セミナーを開催しました！

### ～ ワーキングフェスタinくらよし～

6月7日(火)、本校体育館において、中部地区就労促進セミナーが開催されました。琴の浦高等特別支援学校、産業人材育成センター一倉吉校と合同で準備を進め、司会進行や意見発表、喫茶運営をしました。意見発表では、企業から来られた方々に堂々と自分の思いを発表することが出来ました。また、全学部授業公開を行い、児童生徒の授業の様子を見ていただきました。児童生徒の理解・啓発につながってほしいと思います。ディスカッションも開催され、3名の企業の方に障がい者の雇用についての話をしていただきました。一社でも多くの企業が障がい者の雇用に向けて前向きに取り組んでいただけることを期待したいです。



## 高等部 第1回産業現場等における実習を行いました

6月13日(月)～24日(金)の10日間、高等部生徒は、産業現場等における実習を校外及び校内において行いました。実習にあたっては、働くために必要な力についての学習に取り組みました。

学校とは違い、様々な人から支援を受ける経験をしたり、実際の現場で働くことを通して働くことの大変さや喜びを感じることができたりと、貴重な体験となりました。実習を通して卒業後の進路やこれからの学校生活で身につけておくべき力について考えることができました。

## 生徒の実習の様子を紹介します！



### 《A部門》

A部門高等部では慣れない場所でもリラックスして過ごせることを目的に生活介護の事業所で現場実習を行いました。高等部3年生の生徒は卒業後の利用を見据えて、入浴サービスや理学療法士の方によるリハビリ体験をしたり、利用者の方とのレクリエーションに参加したりしました。初めて利用する事業所もありましたが、事業所の和やかな雰囲気にも生徒も落ち着いて実習を行うことが出来ました。

### 《B部門》

#### 《校外における実習》・・・参加コース

今年度から1年生も前期から校外へ実習に出かけました。初日、みんな緊張した面持ちで実習先へ向かいました。実習に入ると緊張しながらも職場の方の説明等をよく聞き、進んで働く姿勢が見られました。みんなそれぞれ自分の目標を持ち、目標に向かってがんばることが出来ました。実習を終え、自分に向いている仕事や就労の形態などを考え、それぞれが卒業後の働く生活に一步近づくことの出来た実習になったのではないかと思います。

#### 《校外における実習》・・・生活コース

生活介護事業所やB型事業所などで実習を行いました。学校とは違う場で、初めて出会う職員さんや利用者さんとの関わりに緊張した様子も見られましたが、実習が進むうちに作業にも慣れ、利用者さんとの活動に参加する様子も見られるようになりました。「疲れた！」と言っていた生徒も、いい顔をしていました。個々により事業所での実習期間はさまざまでしたが、学校外での活動をしっかりと取り組んできた姿は一段とたくましく見えました。

#### 《校内 さわやか作業所》

今回は、3企業より5種の仕事を提供していただき校内実習を行いました。校内実習とはいえ、各企業から委託された作業ですので「不良品は出さない。」を全員で確認し、各工程ごとにしっかりとチェックをしながら真剣に取り組みました。ペンキャップの中栓はめでは、一人一人が中栓をはめる補助具を使いながら、1つ1つ丁寧に仕上げていきました。作業に集中して取り組み、作業量も増加しました。また、報告や材料の要求など自分から伝えることも出来るようになりました。日に日に生徒の緊張感や作業態度が変化し、2週間という短期間でしたが、生徒の成長を感じました。



#### 産業現場等における実習について

##### 〈ねらい〉

☆将来の社会参加と自立を目指し、企業や福祉施設等における実習体験をとおして、勤労の大切さや働くことに必要な知識・技能・態度を学び、今後の生活や進路の選択に役立てるために取り組んでいます。

○学校の教育課程に基づいて行う学習です。

○学校や家庭で身につけた力を、実際の職場の中で発揮するとともに深めるための学習です。

○卒業に向けて社会の中で必要とされる力を身につけていきます。

##### ◆産業現場等における実習

①高等部・・・年2回（6月13日～24日、10月19日～11月1日）

②中学部・・・年1回（11月9日～16日）

